

## 「つながる生徒会」実現に向けて

生徒会担当 福井 幸

先日、コロナ禍では2回目となる生徒会役員選挙が行われました。3年前までは、給食の時間に立候補者と応援者が各教室をまわりスピーチをしていましたが、昨年からはマスクで顔が見えない中、朝の挨拶運動やzoomでの立会演説会を行ってきました。顔が見えない分、ポスターや選挙公報で自分らしさを出すこと、演説で精一杯自分の想いを伝えることを大切にしてきた生徒会役員たちは、役員選挙が終わった後もその高い意識を保ったまま、日々の活動に精力的に取り組んでいます。



立ち会い演説会の様子

この2年間、生徒会本部は活動が制限される中でも様々な取組を行ってきました。昨年は、石神井中の伝統である挨拶をより意識してもらうための「あいさつの木」の取組や、体育祭での全校生徒の想いを載せた大きな応援旗の作成、いじめについて本気で考えた劇の制作などを行いました。日々の学習や部活動・習い事もある中で、毎日のように放課後活動をすることもありました。毎週行っている挨拶運動やエコキャップ回収を含めると、生徒会本部は、常に何か活動をしています。

皆さんは、なぜ石神井中の生徒会役員がここまで毎日頑張れるか、考えてみたことはありますか？それは、彼らが「自分たちで意味を考えて」「自分たちで企画をして」「学校全体を良くしていきたいと本気で思って」活動しているからです。「毎年やっているから今年もやろう」ではなく、「さらに良い活動にするためにはどうすればいいか」を一つ一つ考えて提案・実行・反省を繰り返して今の生徒会本部があるのです。

忘れがちなかもしれませんが、皆さんも生徒会の一員です。皆さんがいてこそ生徒会本部があります。意見箱に意見が入っていたとき、挨拶が返ってきたとき、エコキャップがたくさん集まったとき、ボランティアの参加者がたくさん集まったとき、生徒会役員は本当に喜びます。皆さんが生徒会活動を他人事ではなく、身近なことだと考えて参加することで、生徒会活動は更に充実したものになっていきます。

今年度後期の生徒会の活動方針は、「継続と変化」から「つながる生徒会」に変わりました。フィジカルディスタンスをとる世の中だからこそ、皆さんとの心の「つながり」が深まることを期待しています。

## 通常に近い教育活動へ

緊急事態宣言が解除となりました。

学校では、感染症対策を継続しつつ、さまざまな学校行事への取組を始めています。密を避けて距離をとっての合唱練習は本当に大変です。またI組は、11/12の八校合同文化発表会に向けて一生懸命練習しています。今年はどんな発表になるのでしょうか。そして3年生は、進路説明会や三者面談と進路選択の大事な時期を迎えることになります。健康に留意して、充実した日々となるようにしていきましょう。



廊下での合唱練習



八校合同発表会に向けてのI組の練習風景



木工室での合唱練習